

第3回播磨町障害者計画策定委員会

○日時

令和5年12月12日(火)14時00分～16時00分

○場所

播磨町役場 3階 BC 会議室

○出席委員 13名

○事務局 3名

○次第

1. 開会

2. 協議 (1)障害者計画(素案)について

①基本分野の確認

②重点課題の確認

③数値目標等について

④基本理念について

(2)今後のスケジュールについて

3. 閉会

○協議内容 一部抜粋

* 生きづらさや生活上の課題の問題について相談する中で、障がいにつながることもある。当事者や家族は誰に相談したらいいのかわからないので、啓発も必要。また、園や学校へ相談して、療育につながることもある。

* 学校では、「障がい」の話を話題の一つとして出せない。経験上特性を持っているかもしれないと思っても、根拠もなく、話を出すことで家庭との関係性が崩れてしまう恐れなどもある。第三者が入ることも必要ではないか。

* 自立支援協議会のそだつ部会の中で、放課後等デイサービスや子どもの発達の課題について関係者が集まって議論できる場が必要である。

* 放課後等デイサービスの質の評価も自立支援協議会で実施してほしい。

* 児童発達支援センターについて、まだ具体的なところはないが、子どもの療育の課題も受け止め、学校訪問事業で関連機関と連携を図っていくこともできる。

* 高等部から一般就労に向けた切れ目のない支援が必要である。

* 家族が丸抱えしなくてもよい、当事者中心の地域生活支援ができるようネットワークを作っていく必要がある。

* 自立支援協議会に当事者部会をつくり、様々な課題について議論できる場が必要である。

* 合理的配慮について、地域住民向けには分かりやすく啓発する必要がある。